

# KODAK PIXPRO FZ152

DIGITAL CAMERA

取扱説明書



## 適合宣言

責任団体：JK Imaging Ltd.

住所：JK Imaging Ltd., 17239 So. Main Street, Gardena, CA 90248 USA

JK Imaging Europe, 71 Clarendon Road, Watford, WD17 1DS, UK

カメラに関する情報の提供：[kodakpixpro.com/AsiaOceania/jp/](http://kodakpixpro.com/AsiaOceania/jp/)

## 本マニュアルについて

コダックデジタルカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、今後のため、本マニュアルをきちんと保管してください。

- JK Imaging Ltd. は本マニュアルの著作権を保有します。本マニュアルは、一部でも再生したり、受信システムで転送、転写または保管、あるいは、いかなる形態または方法によっても、JK Imaging Ltd. の書面による事前承認なしに、言語やコンピュータ言語に翻訳することはできません。
- 本マニュアルに記載されたブランド名または商品名はすべて識別目的でのみ使用され、それぞれの所有者の登録商標です。
- 本マニュアルには、コダックデジタルカメラの使用法に関する取扱説明が記載されています。
- 情報を素早く簡単に探せるように、本マニュアルは次の記号が使用されています。



知っていると役に立つ情報を示します。

- カメラの操作を紹介するとき、理解しやすくしていただくために、次の記号が文章に表示されています。

「アイテム内容」：液晶モニターに表示されるアイテム内容は「 」記号で表示されています。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

# 安全上の注意

## カメラに関するご注意

- カメラを投げたり、落としたり、叩いたりしないでください。故障の原因となります。
- 分解や改造しない。感電したり、けがをするおそれがあります。
- カメラを長時間使用しないときは、電池を取り外し、ほこりや湿気の少ない清潔な乾燥した場所に保管してください。
- 高温（40℃以上）でのご使用、直射日光が当たる場所での保管はしないでください。
- 強い電磁波を発生させる装置の区域（電子レンジ、テレビ、磁石、変圧器など）で、カメラのご使用、保管はしないでください。
- 水につけたり、水をかけたり、雨に濡らさない(防水カメラを除く)。火災、感電の原因となります。
- カメラ内部に水や異物が浸入したときは、すぐに電源を切って、電池とメモリーカードを取り出して、販売店あるいはサービスステーションにご相談ください。
- 寒い戸外（低温環境）から暖かい室内（高温環境）に入るなど急激に温度が変わると、カメラ内部に結露が生じることがあります。カメラの電源を入れる前にしばらくお待ちになることをお勧めします。
- 電池とメモリーカードを取り出すときは、カメラの電源をオフにしてください。
- レンズを取り外すと、イメージセンサー（撮像素子）が見えます。損傷の恐れがありますので、イメージセンサーには触らないでください。
- 手をカメラボディのレンズマウント内に入れしないでください。イメージセンサーは精密な電子部品です。故障あるいは破損させる原因となります。
- カメラの清掃に、研磨剤入り洗剤、アルコールベース、または溶剤ベースの洗浄剤を使用しないでください。
- カメラボディとレンズマウントを、定期的に専用のレンズ拭き取り布でやさしく拭いてください。
- 長期間使用しないときは、電池とカードを取り外して、涼しい清潔な場所に保管してください。
- お客様の取り扱い不備により、静止画や動画を再生できない場合は、補償は致しません。ご了承ください。

## 電池に関するご注意

- 指定以外の電池は使用しないでください。
- 専用の充電器以外を使用しない。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。
- 電池から漏れた液が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の診断をうけてください。
- 電池の廃棄についてはお住いの自治体の条例に従ってください。
- 電池に強い衝撃を与えたり、投げたり、鋭利のもので電池を傷つけたりしない。破裂、液漏れの原因となります。
- 電池と金属製のネックレスやヘアピン、コインと一緒に持ち運んだり、保管しない。ショート、発熱、火傷やけがの原因となります。
- 電池をショート、分解しない。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。
- 水につけたり、落としたり、濡れた手で掴んだり、端子部を濡らしたりしないでください。液漏れ、発熱、感電の原因となります。
- 電池を火の中に投下したり、加熱しない。液漏れ、破裂、火災の原因となります。
- 高温（40℃以上）や直射日光が当たる場所で、電池の保管はしないでください。
- 充電中に電池が過熱したときは、電源を切り電池を取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておきます。液漏れ、発熱により、火災、ケガの原因となることがあります。
- 電池は幼児の手の届くところに放置、保管しないでください。舐めたり、口に入れたりすると非常に危険です。
- 低温下で使用した場合は、電池性能が大幅に低下します。
- プラスとマイナスの標示にしたがって、電池を正しく装填してください。電池を無理に電池室に押し込まないでください。

## メモリーカードに関するご注意

- 信頼できるメーカーのメモリーカードをご購入ください。
- メモリーカードを新しく購入、他のカメラで使用、パソコンで初期化等した場合は、ご使用の前に、お使いのカメラで、メモリーカードを必ずフォーマットしてください。
- メモリーカードに強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。破損させる原因となります。
- メモリーカードを分解や改造しないでください。
- 水につけたり、濡れた手で掴んだりして、メモリーカードを濡らさないでください。破損させる原因となります。
- メモリーカードの取り外しは、必ずカメラの電源をオフにしてからおこなってください。もしオンの状態で取り出すとメモリーカードを破損させる原因となります。
- メモリーカードに保存されている画像を直接編集しないでください。編集するときは、画像をパソコンへコピーしてから行ってください。
- 長期間使用しないときは、メモリーカード内の画像は、パソコンなどに保存してから、カードを取り外して、清潔な乾燥した涼しい場所に保管してください。
- パソコンでメモリーカードのディレクトリ名、またはファイル名を変更または消去しないでください。カメラでメモリーカードが使用できなくなる原因となります。
- カメラを使用して撮影した静止画、動画は、メモリーカードに自動的に作成されたフォルダーに保存されます。他の機器を使用して撮影した静止画、動画をこのフォルダーに保存しないでください。再生モードで、ファイルを認識できない原因となります。
- メモリーカードを挿入するときは、必ず正しい向きでカードスロットに合わせて「カチッ」と音がするまで差し込んでください。無理に挿入しないでください。メモリーカードを破損させる原因となります。

## その他に関するご注意

- ファームウェアの更新中は電源をオフにしないでください。変更中にカメラの電源が切れると、カメラの電源が入らなくなり、撮影できなくなります。カメラの電源はフル充電した専用バッテリーご使用下さい。
- 使用が制限されている場所（飛行機、医療機関など）では、そこの規定を厳守してください。
- 液晶モニターにいくつかのきわめて小さな点（白、黒）が常時表示される場合があります。これらの点は製造プロセスでは通常のことであり、記録された写真に影響を与えることはありません。
- 液晶モニターを水で濡らさないでください。もし濡れてしまった場合は、清潔な柔らかい布で水分を拭き取ってください。
- 液晶モニターが損傷した場合、液晶モニターの液晶には特別な注意を払ってください。次の状況が発生した場合、直ちに以下の措置を取ってください。
  1. 中の液晶が皮膚に触れた場合、布で拭き取り、石鹸と流水でよく洗ってください。
  2. 液晶が目に入ったら、きれいな水でその目を15分以上洗い、医師の診察を受けてください。
  3. 液晶を飲み込んだ場合、口を水でよくすすぎ、ただちに医師の診察を受けてください。

# 目次

警告 .....	1
安全上の注意 .....	3
目次 .....	7
準備をする .....	11
付属品一覧 .....	11
各部名称 .....	12
電池とメモリーカードの装填 .....	14
電池を充電する .....	16
電源をオン/オフに切り換える .....	17
カメラの構え方 .....	17
言語と日時の設定 .....	18
モードを使用する .....	21
液晶モニター画面表示 .....	21
静止画撮影モード表示 .....	21

動画撮影モード表示.....	22
モードボタンの使用.....	23
パノラマモード .....	24
シーンモード .....	25
<b>基本操作 .....</b>	<b>29</b>
ズーム機能を使用する.....	29
画面の切り替え表示.....	30
マクロモード .....	31
セルフタイマーモード .....	32
フラッシュモード.....	33
機能設定 .....	34
動画撮影ショートカット.....	36
<b>再生モード .....</b>	<b>37</b>
再生モード表示 .....	37
静止画と動画を見る.....	38
サムネイルビュー .....	39

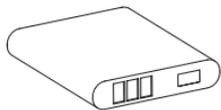
画像を拡大する（静止画専用） .....	40
スライドショー .....	41
画像を消去する方法.....	42
<b>操作メニュー .....</b>	<b>43</b>
静止画メニュー .....	43
設定メニュー .....	49
動画メニュー .....	53
動画設定メニュー.....	56
再生メニュー .....	57
再生設定メニュー.....	60
カメラ設定メニュー.....	63
音設定.....	64
省電力.....	64
Language/言語.....	65
ワールドタイム .....	65
日付/時刻.....	65

液晶の明度 .....	65
ファイル 設定 .....	66
フォーマット .....	66
カードへコピーする.....	67
ファイル番号 .....	67
リセット.....	68
FWバージョン.....	68
<b>カメラ接続 .....</b>	<b>69</b>
PCIに接続する.....	69
PictBridge互換プリンターに接続する .....	71
PictBridgeメニューを使用する.....	73
ビデオシステム .....	77
Eye-Fi カード接続モード.....	78
<b>付録.....</b>	<b>79</b>
仕様.....	79
エラーメッセージ.....	83
困ったときには .....	87

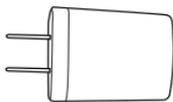
# 準備をする

## 付属品一覧

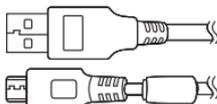
パッケージにはご購入されたカメラ、および次の付属品が含まれています。付属品が足りない場合や破損している場合は、販売店にご連絡ください(ACアダプターのプラグの形状は国や地域によって異なります)。



充電式リチウムイオン  
電池



AC アダプター  
(オプション)



USBケーブル



ショルダースト  
ラップ



かんたん操作  
ガイド

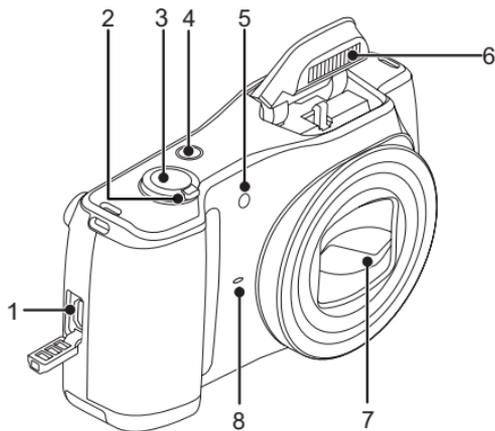


保証書

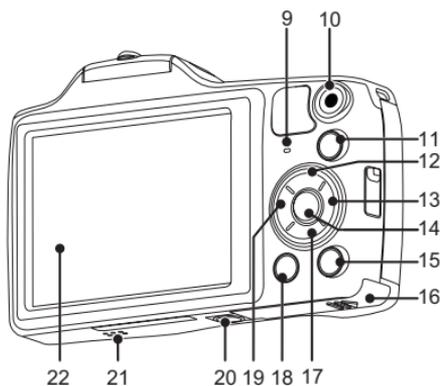


サービスカード

## 各部名称



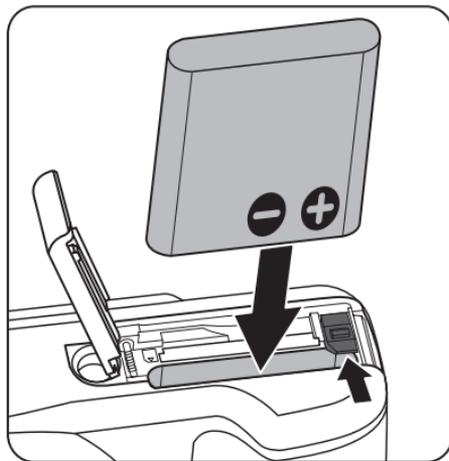
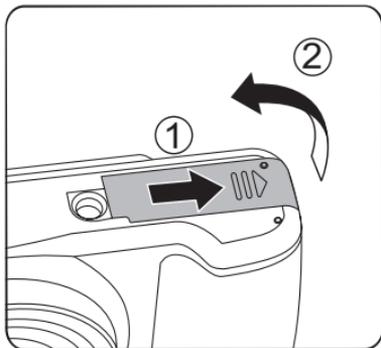
1. USB/AV 端子
2. ズームレバー
3. シャッターボタン
4. 電源ボタン
5. AFアシストビーム/  
タイマーインジケータ
6. フラッシュ
7. レンズ
8. マイク



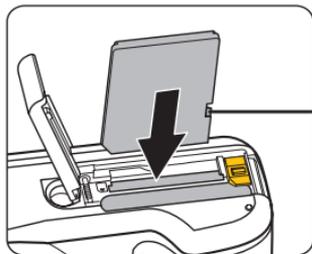
- 9. 電源ランプ
- 10. ● 動画ボタン
- 11. (MODE) Mode ボタン
- 12. [DISP.] DISP.ボタン/機能ボタン上
- 13. [⚡] フラッシュモード/機能ボタン右
- 14. (SET) SET ボタン
- 15. (▶) 再生ボタン
- 16. 電池カバー
- 17. [■] 消去/機能ボタン下
- 18. (☰) Menu ボタン
- 19. [🌸🕒] マクロモード/セルフタイマー/  
機能ボタン左
- 20. 三脚ねじ穴
- 21. スピーカー
- 22. 液晶モニター

## 電池とメモリーカードの装填

1. 電池カバーを矢印方向にスライドさせて開きます。
2. 電池のプラスとマイナスを確認しながら、電池の側面を使用して電池ロックツマミを矢印方向に逃がし、電池を正しく装填します。

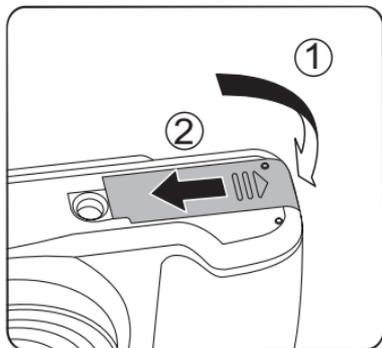


3. 図に示すように、メモリーカードをメモリーカードスロットに装填します。



書き込み保護  
スイッチ

4. 電池カバーを閉じます。



メモリーカード(SD/SDHC)は別売りです。カメラの付属品ではありません。市販のメモリーカードを御求めください。4GBから32GBまで使用可能です。



メモリーカードを取り外すには、電池カバーを開け、指で軽く奥に押し込むと、カードが押し込まれます。まっすぐ引き抜きます。



SDカードには書き込み保護スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にするとデータの書き込みや消去を禁止します。撮影時や画像を消去する時は「Lock」を解除してください。

## 電池を充電する

電池を装填し、充電する前に、カメラの電源はオフにしてください。

1. USBケーブルを利用して、カメラとACアダプターを接続します。
2. ACアダプターのプラグを壁のコンセントに差し込んで、充電します。
3. カメラの電源オフ後に、USBケーブルでカメラをPCに接続して充電することもできます。

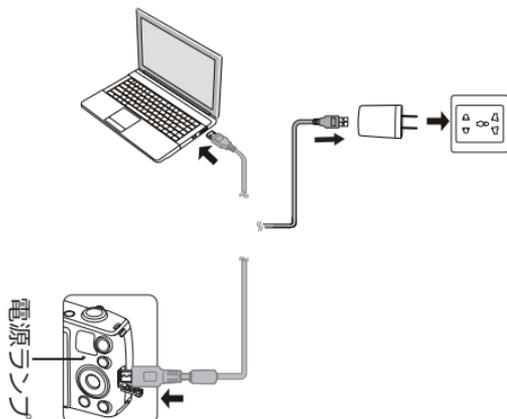
 長い間使用されなかった電池は、付属のACアダプターで、充電してから使用してください。

 電源ランプ：  
橙点灯：充電中

充電が完了するとカメラは自動的にパワーオフします。電池の寿命を最大限に延ばすために、最初の充電は4時間以上行ってください。

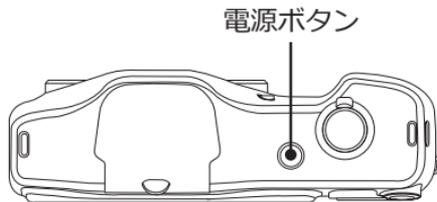
 0℃～40℃の室内で電池を充電してください。

 Power Off状態のみカメラのバッテリーへ充電出来ます。Power on状態では電源と接続して操作出来ますが充電出来ません。



## 電源をオン/オフに切り換える

カメラの電源ボタンを押して、オンにします。カメラの電源をオフにするには、電源ボタンをもう一度押します。



再生ボタンを長押しすると、カメラの電源がオンして、再生画面を表示することができます。

## カメラの構え方

1. 両手でカメラをしっかりと持ちます。指がフラッシュやレンズを遮らないように注意して下さい。
2. レンズを被写体に向けて、液晶モニターで構図を決めます。
3. ズームレバーを操作して、被写体を拡大するときはT側に回します。広い範囲を撮影するときはW側に回します。
4. シャッターボタンを軽く半押しして、被写体に焦点が合うと、液晶モニターの中央部に緑色のAFフレームが表示されます。シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

## 言語と日時の設定

### 言語設定

1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターに、Language画面が表示されます。
3. 機能ボタン上/下を押して、言語を設定します。
4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。
5. 言語設定が確定後、液晶モニターに、日付/時刻画面が表示されます。



### 日時設定

1. 機能ボタン上/下を押して、「年月日」の表示順を選択します。
2. 機能ボタン右を押して年月日、時刻を選択し、機能ボタン上/下を押して、値を合わせます。
3. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。



## 確定した言語を変更する場合

1. (M) ボタンを押し、機能ボタン上/下を押し、(M) を選択し、(SET) ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押し、(M) を選択します。
3. (SET) ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押し、「Language/言語」を選択し、(SET) ボタンあるいは機能ボタン右を押します。
4. 機能ボタン上/下を押し、Language/言語を選択します。
5. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。



## 確定した日時を変更する場合

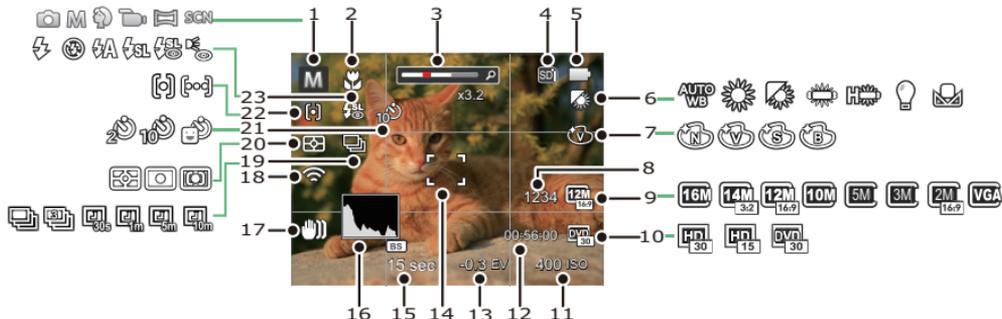
1.  ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択します。
3.  ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、「日付/時刻」を選択し、 ボタンあるいは機能ボタン右を押します。
4. 機能ボタン上/下、左/右を押して、値を変更します。
5.  ボタンを押して、設定を確定します。



# モードを使用する

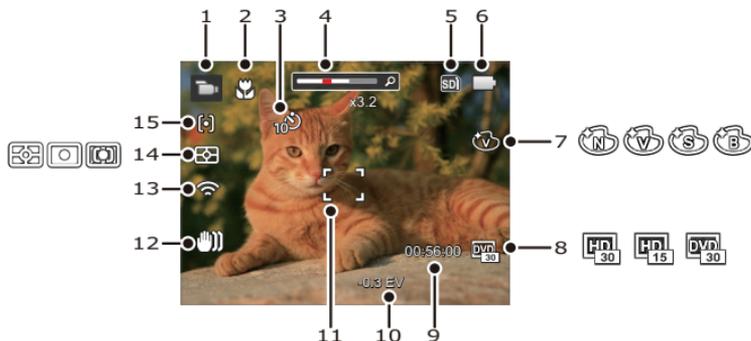
## 液晶モニター画面表示

### 静止画撮影モード表示



1	撮影モードアイコン	9	静止画画像サイズ	17	手ブレ補正
2	マクロモード表示	10	動画画像サイズ	18	Eye-Fi 表示(送信)
3	ズームインジケター	11	ISO感度	19	連写
4	メモリーカード/内蔵メモリー表示	12	撮影可能時間	20	測光方式
5	電池残量表示	13	露出補正	21	セルフタイマー表示
6	ホワイトバランス	14	AFフレーム	22	AFモード
7	色彩	15	シャッター速度	23	フラッシュモード表示
8	撮影可能枚数	16	ヒストグラム		

## 動画撮影モード表示



1	撮影モードアイコン	6	電池残量表示	11	AFフレーム
2	マクロモード表示	7	色彩	12	手ブレ補正
3	セルフタイマー表示	8	動画画像サイズ	13	Eye-Fi 表示(送信)
4	ズームインジケータ	9	撮影可能時間	14	測光方式
5	メモリーカード/内蔵メモリー表示	10	露出補正	15	AFモード

## モードボタンの使用

コダックカメラでは撮影シーンに応じて簡単に切り換えることができるモードボタンが付いています。使用可能なモードについて、下記の一覧で説明します。

モード名	アイコン	説明
自動モード		このモードでは誰にでも簡単に静止画を撮影することができます。自動モードは、撮影に使用することも最も簡単なモードです。このモードで操作している間、カメラは画像を自動的に最適化します。
手動モード		このモードに切り換えると、手動でカメラの設定を選択して静止画を撮影できます。撮影目的に合わせてEV、ISOとシャッター速度を設定できます。組み合わせにより、撮影範囲、条件などを広げたいときに使用します。
ポートレートモード		人物の顔を明るくきれいに撮影できます。
動画モード		このモードに切り換えると、動画撮影ができます。
パノラマモード		このモードに切り換えると、連続撮影した画像をつなぎ合わせて1枚のパノラマ写真にします。
シーンモード		20種類のシーンモードから選択して、自動的に最適な設定で静止画の撮影ができます。

## パノラマモード

パノラマモードでは、パノラマ写真を作成します。カメラは撮影した個々の画像で、パノラマ写真を自動的に構成します。

1. **(MODE)** ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、 を選択し、**(SET)** ボタンを押します。
2. 機能ボタン左/右を押して、カメラを動かす方向を選択します。方向を選択しないで2秒経過すると、自動的に初期設定と同様に左から右方向の撮影に設定されます。
3. 液晶モニターで構図を決めてから、シャッターボタンを半押し、フォーカス後、全押しして、最初の一枚を撮影します。撮影が終了すると画面には、半透明画像が画面の端に表示されます。端を重ねることで二枚目が撮影されます。この手順を繰り返して撮影します。



4. 4枚の撮影が終了すると、カメラは自動的に一枚ずつの画像をパノラマに合成させます。
5. 4枚以下で撮影を中止した場合、**(SET)** ボタンを押すと、自動的に連続写真として保存されます。**(▶)** ボタンを押して、効果を確認することができます。

① 撮影中は、フラッシュ、セルフタイマー、マクロ、露出補正の各モードは使用できません。又、フォーカスの調整もできません。

② パノラマ写真撮影中に (SET) ボタンを押して、画像を保存し、撮影を終了します。途中で消去/機能ボタン下 を押せば保存せずに取り消すこともできます。

## シーンモード SCN

シーンモードでは、状況に合わせて合計20種類のシーンから選択できます。場面に適したシーンを選択するだけで、最適な撮影ができます。

1. (MODE) ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、SCNを選択し、(SET) ボタンを押して、画面にはシーンモードメニューが表示されます。



2. 機能ボタン左/右、上/下を押して、撮影に適切なシーンモードを選択し、(SET) ボタンを押して、設定を確定します。
3. シーンモードを変更するには、(MENU) ボタンを押して (SET) ボタンを押します。機能ボタン左/右、上/下を押して、撮影に適切なシーンモードを選択し直します。

シーン	説明
 自動シーンモード	自動的にシーンを識別し、人物、逆光の人物、風景、マクロ、夜景、夜景と人物などに適した撮影をします。
 風景	風景の撮影では、緑色と青色が鮮やかに表現できます。
 スポーツ	動きの速い被写体をぶれずに撮影できます。
 ビーチ	日差しの強い浜辺で明るく鮮やかな写真が撮影できます。
 夕日	夕日を撮影する際、赤色と黄色が鮮やかに表現できます。
 花火	夜景や花火の撮影には、シャッター速度を遅くして鮮やかな画像を再現します（三脚の使用を推奨します）。
 夜景	夜景を撮影します（三脚の使用を推奨します）。
 雪	雪景色を撮影する際、見たままの白を表現します。
 子供	障害を避けるため、自動的にフラッシュの発光を禁止します。子供の写真を撮るのに適しています。
 IDカード	証明写真を撮るときに輪郭を鮮やかに写します。(6インチ×4インチ=10.2cm×15.2cm) の印画紙を用いて印刷することをお勧めします。
 ガラス越し	透明なガラスの背後の被写体を撮影します。
 フォトフレーム	感動と楽しさを伝えることができます。

シーン	説明
 流し撮り	被写体のスピード感をとらえ、背景は流れるように撮影します。
 魚眼	魚眼効果を強調した写真が写せます。
 パーティー	室内のパーティー会場で、照明の背景を生かして、楽しい雰囲気が伝わります。
 室内	室内撮影用です。背景や周辺を鮮明にします。
 植物	植物を撮影する際、緑が鮮やかに表現できます。
 博物館	博物館やフラッシュが禁止されている場所でも明るく写ります。
 夜景ポートレート	人物の顔は明るく、夜景もキレイに写します。
 スケッチ	鉛筆で滑らかに描いたような写真が撮れます。

## 自動シーンモード (ASCN)

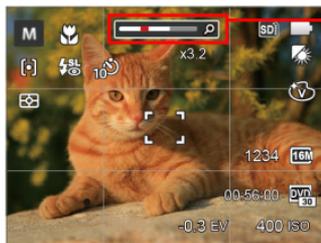
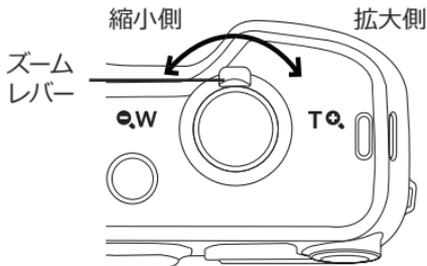
ASCN モードでは、カメラがさまざまな撮影条件に合ったシーンを自動的に認識して、最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせを決めシャープで鮮やかな画像を撮影します。

モード名	説明
 風景	風景写真の場合、ASCNは背景に一致するように露出を自動的に調整します。
 ポートレート	人物撮影の場合、ASCNは人物の肌を美しく自然に仕上げ、適切な露出で撮影します。
 夜景ポートレート	夜間や暗い条件下で人物を撮影するとき、ASCN は人物と背景の明るさを最適に自動調整します。
 逆光のポートレート	太陽またはその他の光源が被写体の背景にある場合、ASCN は前景の露出を自動的に調整して人物が暗くならないように撮影します。
 夜景	夜景の場合、ASCNはISO値を自動的に上げて、手ブレを押さえて夜景をきれいに撮影します。
 マクロ	小さな被写体をアップで撮影できるように ASCN は自動的にピントを合わせます。
 自動	被写体の明るさに応じて最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせをカメラが自動的に決めます。

# 基本操作

## ズーム機能を使用する

カメラには、光学ズームとデジタルズームの2種類のタイプのズームが装備されています。カメラ上部のズームレバーを回して、被写体を拡大させたり、縮小させたりして撮影することができます。



ズームインジケータ（50頁のデジタルズームを参照してください）。

デジタルズームがオンに設定されている時は、光学ズームが最大値の15倍に達すると停止します。一旦ズームレバーから指を離し、再度同じ方向に回すと自動的にデジタルズームに切り替わります。

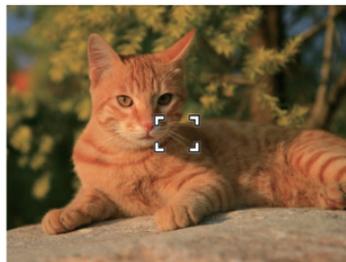
## 画面の切り替え表示

**DISP.** ボタンを押して、画面の表示内容を変更することができます。

撮影モードのときにdisp.ボタンを押して、3種類の画面表示に切り換ります。



機能の情報表示



情報表示なし



グリッドガイドとヒストグラムの表示

## マクロモード

マクロモードでは被写体に近づいて大きく、細部を撮影することができます。

1.   ボタンを押して、マクロモード機能メニューが表示されます。



2. 機能ボタン左/右を押して、2種類のメニューから選択することができます。

-  マクロ : オフ  
マクロ機能をオフにします。
  -  マクロ : オン  
マクロモードオンの設定により、レンズ前約3cmまでの被写体にピントを合わせることができます。
3.  ボタンを押して、設定を確定します。

## セルフタイマーモード

自分も一緒に写りたい時やシャッターボタンを押す時の手ぶれを軽減したいときはセルフタイマーが便利です。タイマー時間は2秒、10秒、笑顔モードから選べます。三脚の使用をおすすめします。

1.   ボタンを押して、 機能ボタン下を押して、セルフタイマー機能メニューが表示されます。



2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、4種類のメニューから選択することができます。

-  セルフタイマー：オフ  
セルフタイマー機能をオフにします。

-  セルフタイマー：2秒  
シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーが作動して、2秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。
  -  セルフタイマー：10秒  
シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーが作動して、10秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。
  -  セルフタイマー：笑顔  
笑顔を検出するとシャッターが切れます。
3.  ボタンを押して、設定を確定します。

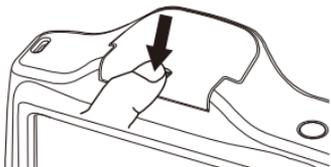
 セルフタイマー(2秒、10秒)を途中で、止めるには、シャッターボタンあるいは、機能ボタン下を押します。セルフタイマーを解除するには、再度機能ボタン下を押して、設定をオフにします。

 セルフタイマー(笑顔)を途中で止めて、解除するには、シャッターボタンあるいは、 ボタンを押します。

## フラッシュモード

暗い環境の中、あるいは逆光のときはフラッシュを使用することが有効です。被写体の位置、背景、明るさなどを考慮して適切なモードを選択してください。

1. 手動でフラッシュをポップアップしてください。(図で示す通り)



2.  ボタンを押して、フラッシュ機能メニューが表示されます。



3. 機能ボタン左/右を押して、6種類のメニューから選択することができます。

-  発光禁止  
あらゆる条件下でフラッシュは発光しません。
  -  自動発光  
カメラは、逆光および明るさに基づいてフラッシュを自動的に制御します。
  -  強制発光  
すべての条件下で発光します。逆光で撮影するときに適しています。
  -  スローシンクロ  
夜景を背景に人物撮影するときに適しています。シャッタースピードを遅くして背景をきれいに写します。
  -  スローシンクロ+赤目軽減  
スローシンクロ撮影時に人物の赤目現象を軽減できます。
  -  赤目軽減  
予備発光を行い、目が赤く写る現象を軽減します。
4.  ボタンを押して、設定を確定します。

## 機能設定

各機能を最適な条件に設定することで、より本格的な撮影を楽しめます。

1. **SET** ボタンを押して、設定メニューが表示されます。
2. 機能ボタン左/右を押して、機能メニューを選択します。
3. 機能ボタン上/下を押して、値を設定します。
4. **SET** ボタンを押して、設定を確定します。

### 露出補正

画像の明るさを調整できます。被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が極めて大きい場合に、適正の明るさになるように調整します（露出補正の設定はカメラが **M** **☑** モードに入っているときのみ使用できます）。



露出値の調整可能範囲は、EV-2.0からEV+2.0です。

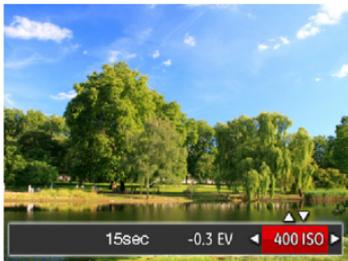


動画モードでも露出補正を調整することができます。

## ISO感度

ISO感度の変更は、被写体の明るさに応じて設定します。暗い環境での撮影には、ISO値を高くする必要があります。これとは反対に、明るい環境ではISO値を低くする必要があります（ISO感度の設定はカメラが、モードに入っているときのみ使用できません）。

ISO感度が高くなるにつれ電氣的なノイズが増えて画像が粗くなります。



ISO感度の調整可能範囲は、自動、80、100、200、400、800、1600です。

## シャッター速度

動きのある被写体を撮影する時、シャッター速度を意図的に速めると被写体が、一瞬止まったように撮影できます。シャッター速度を遅くすると、動く被写体の軌道が流れるように撮影でき、感動を与えてくれます（シャッター速度の設定はカメラが、モードに入っているときのみ使用できます）。



シャッター速度の調整可能範囲は、最長30秒です。

## 動画撮影ショートカット

動画ボタン  を押すと、素早く動画モードに切り替わって録画を開始します。



動画撮影を終了するには、動画ボタン  あるいはシャッターボタンを全押しすると、動画を保存して、撮影画面に戻ります。

# 再生モード

## 再生モード表示

再生モードアイコン: 



## 画面の切り替え表示

disp.ボタンを押して、画面の表示内容を変更することができます。

再生モード 

再生モードのときにdisp.ボタンを押して、3種類の画面表示に切り換ります。



機能の情報表示

詳細の情報表示

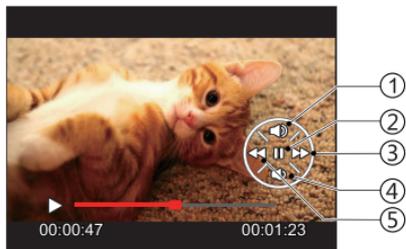
情報表示なし

## 静止画と動画を見る

撮影された静止画や動画を液晶モニターに表示するには、次の手順で行ないます。

1. 撮影モードの状態では、**▶** ボタンを押すと再生モードに切り替わります。画面には最後に撮影した静止画及び動画が表示されます。
2. 機能ボタン左/右を押して、メモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された画像を選択して表示します。
3. 選択された動画を再生するには、**SET** ボタンを押して動画再生モードに入ります。

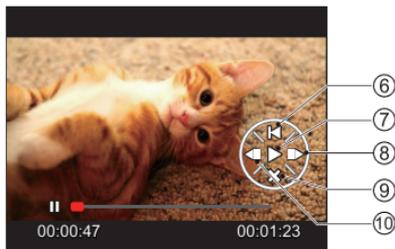
動画再生中は、画面に操作ガイドが表示されます。機能ボタン左/右と **SET** ボタンを押して、操作機能の変更ができます。



下記に操作機能を表示してあります。

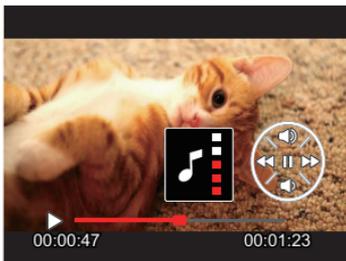
- |          |          |
|----------|----------|
| 1 音量を上げる | 4 音量を下げる |
| 2 一時停止   | 5 巻き戻し   |
| 3 早送り    |          |

下記に一時停止後の操作機能を表示してあります。



- |            |         |
|------------|---------|
| 6 最初のコマに戻る | 9 再生取消  |
| 7 再生の再開    | 10 巻き戻し |
| 8 早送り      |         |

動画を再生する時、機能ボタン上/下を押して、再生音量を調整し、消音になるとき、が表示されます。

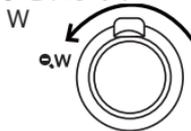


下記に操作機能を表示してあります。

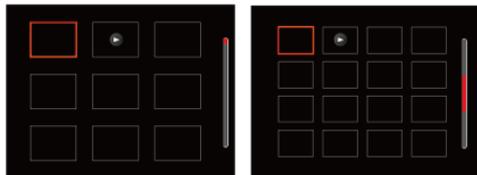
- 1.音量を上げる
- 2.音量を下げる

## サムネイルビュー

再生モードでズームレバーを  W 側に回すと、液晶モニターに静止画と動画のサムネイル画像が表示されます。



1. ズームレバーをW側に回すと、3x3 (9コマ) のサムネイル画像が表示されます。さらに回すと、4x4 (16コマ) のサムネイル画像が表示されます。
2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、静止画または動画を選択することができます。 ボタンを押すと、再生画面に戻ることができます。

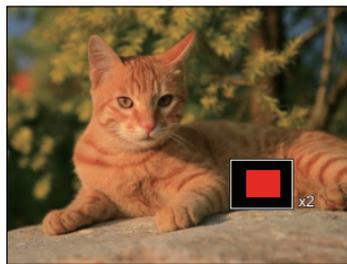
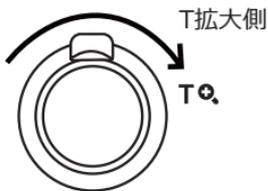


 液晶モニターに  のアイコンが表示されるときは動画画像です。

## 画像を拡大する（静止画専用）

ズームレバーは再生中にも使用できます。画像を8Xまで拡大することが可能です。

1. **⏪** ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左/右を押して、拡大する静止画を選択します。
3. ズームレバー **T**  側に回して画像を拡大すると、液晶モニター右下に倍率（2.0X）が表示されます。また、画像全体のどの部分を表示しているかを示す画面位置表示（案内マーク、赤色）が表示されます。



4. 機能ボタン上/下、左/右を押して、お好みの場所を見ることができます。
5. 拡大した画像を縮小するときは、**SET** ボタンを押します。またズームレバーをW側に繰り返し回しても画像を縮小できます。



動画は拡大できません。

## スライドショー

この設定により、保存されているすべての画像をスライドショーとして表示できます。

1. 撮影モードで  ボタンを押します。
2. スライドショーを見るには  ボタンを押します。
3. 機能ボタン左/右を押して、取消あるいは3種類のメニューから選択することができます。



- 効果1：間隔1秒
  - 効果2：間隔1秒
  - 効果3：間隔1秒
4.  ボタンを押して、設定を 確定します。
-  スライドショー を再生する時に画像が回転しないこと。

## 画像を消去する方法

再生モードで、消去機能ボタン下  を押して、静止画と動画を消去することができます。

静止画または動画の消去：

1.  ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左/右を押して、消去する静止画または動画を選択します。
3. 機能ボタン下  を押すと消去画面が表示されます。



4. 機能ボタン上/下を押して、「1枚消去」または「戻る」を選択し、 ボタンを押して、設定を確定します。

 消去された静止画/動画は回復することができません。

 すべての画像を一括消去する方法は61ページをごらんください。

# 操作メニュー

## 静止画メニュー

撮影モードにより、全てのメニューは使用できません。

撮影モードアイコン:  M  SCN

撮影モードで  ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。

1. 機能ボタン上/下を押して、変更するセットアップメニューを選択します。
2. 機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。
3.  ボタンを押して、設定を確定します。

変更する機能メニューを選択するとき、機能ボタン上/下を押し続けると、各セットアップメニューに素早く切り換えることができます。

## 測光方式

この設定により、明るさを測定する範囲を選択します。



3種類のメニューから選択することができます。

-  AiAE  
画面中央部と周辺の明るさを測定して、適正露出が得られるように自動的に値を設定します。
-  スポット  
画面中央のAFフレーム内を測光します。
-  中央部重点  
画面中央部の範囲を重点に測光します。

## 画像サイズの設定

サイズ設定は、ピクセルで画像解像度を設定します。画像解像度を高くすれば、画像品質を低下させずに大きなサイズで画像を印刷できます。

8種類のメニューから選択することができます。

- 16M：超高品質印刷
- 14M：高品質印刷
- 12M：フルサイズ印刷
- 10M：A3ノビサイズ印刷
- 5M：A4印刷
- 3M：A4以下印刷
- 2M：A5印刷
- 0.3M：電子メール



記録されるピクセル数が大きくなれば、それだけ画質もよくなります。記録されるピクセル数が小さくなれば、それだけメモリーカードに多くの画像を保存できます。

## 手ブレ補正

手ブレ補正は、暗い時またはシャッタースピードが遅いときに発生する手ブレ及び被写体ブレの影響を軽減します。



-  手ブレ補正：オフ
-  手ブレ補正：オン



手ブレ補正は暗い場所で撮影するときにお勧めします。



風の強い場所や不安定な場所（動いている乗り物の中など）で撮影すると、ブレが生じることがあります。

## ホワイトバランス

ホワイトバランスでは、色合いを正確に再現できるように、さまざまな光源の下の色温度などを調整します(WB設定はカメラが Mモードに入っているときのみ使用できます)。



7種類のメニューから選択することができます。

- 自動
- 晴天
- 曇天
- 蛍光灯
- 蛍光灯 CWF
- 白熱電球
- 手動
- 調整する

シャッターボタンを全押しすると、自動的にホワイトバランスを調整します。

## コンティニュアス AF

コンティニュアスAF機能がオンになっている状態では、動きのある被写体に対して自動的にピントを合わせ続けます。



2種類のメニューから選択することができます。

- コンティニュアスAF : オフ
- コンティニュアスAF : オン

## AFモード

被写体を撮影している間、この設定を使用して自動フォーカスメカニズムを制御します。



2種類のメニューから選択することができます。

-  シングル AF  
AFフレームが液晶モニターの中央に表示されると、被写体に焦点が合います。
-  マルチ AF  
カメラは焦点を見つけるために、広い領域で被写体に自動的に焦点を合わせます。

## 連写

この設定により、連写（連続撮影）を行います。シャッターボタンを全押ししている間、連写を行います。



7種類のメニューから選択することができます。

-  一枚撮り
-  連写
-  連写：3Xショット
-  インターバル撮影：30秒
-  インターバル撮影：1分
-  インターバル撮影：5分
-  インターバル撮影：10分

 連写を設定してある時は、フラッシュは機能しません。

## 色彩

色彩を変えることにより、画像にアート効果が追加されます。さまざまな色の組み合わせを試みて、画像の雰囲気を変えることができます

1. 撮影モードで **[M]** ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。
2. 機能ボタン上/下を押して、色彩効果セットアップメニューを選択して、**[SET]** ボタンを押して、設定を確定します。
3. 機能ボタン左/右を押して、色彩変更する静止画を選択します。
4. **[SET]** ボタンを押して、設定を確定します。



4種類のメニューから選択することができます。

- **[N]** 普通
- **[V]** 鮮明
- **[S]** セピア色
- **[B]** 白黒

- 撮影モードでの各メニュー (○ : 選択できる × : 選択できない)

メニュー	撮影モード			
		M		SCN
	○	○	○	○
	○	○	○	○
	○	○	×	×
	○	○	○	×
	○	○	○	×
	○	○	×	×
AUTO WB	×	○	×	×
	×	○	×	×
ASCM	×	×	×	○

## 設定メニュー

撮影モードアイコン：📷 M 🗨️ 📺 SCN

1. 撮影モードで📷 ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、📺 を選択し、🗨️ ボタンを押します。



2. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
3. 🗨️ ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、設定メニューを選択します。
4. 🗨️ ボタンあるいは機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。
5. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
6. 🗨️ ボタンを押して、設定を確定します。

## 画質の設定

画質設定メニューによって画像の圧縮比を調整することができます。高画質に設定するほど優れた画像が得られますが、記録する枚数は少なくなります。



3種類のメニューから選択することができます。

- 精細 (16M 平均サイズ：4.0MB)
- 標準 (16M 平均サイズ：2.5MB)
- 普通 (16M 平均サイズ：2.0MB)

## AFアシストビーム

この設定により、暗所でも焦点を合わせることが出来ます。オンを選択するとAFアシストビームがオンになり、オフを選択するとこの機能が無効になります。



2種類のメニューから選択することができます。

- オフ
- オン



AFアシストビームがオンになっているとき、シャッターボタンを半押しすると、カメラは被写体にAFビームを投射してピントを合わせ易くします。

## デジタルズーム

この設定により、デジタルズーム機能のオン/オフを切り換えることができます。デジタルズームがオフになっているとき、光学ズームのみが使用できます。



2種類のメニューから選択することができます。

- オフ
- オン

## 日付写し込み

撮影と同時に日付と時間を画像に写し込みます。



3種類のメニューから選択することができます。

- オフ
- 日付
- 日付/時刻

## レビュー

この設定により、直前に撮影した画像を見ることができます。画像が画面に表示されている時間を変更することができます。



4種類のメニューから選択することができます。

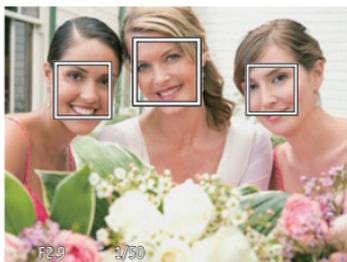
- オフ
- 1秒
- 2秒
- 3秒

## 顔検出

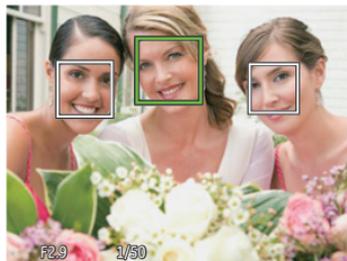
撮影モードで、顔検出の設定をオンにすると、自動で顔に焦点が合います。



1. カメラを構えて、被写体に向け顔を検出すると、液晶モニターの顔部に白枠のフレームが表示されます。



2. シャッターボタンを軽く半押しして、被写体に焦点を合わせます。焦点が合うと、白枠のフレームが緑枠のフレームに変わります。



3. シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

 瞬き検出機能が有効になっています。再生時に瞬きを検出したときは、 が表示されます。

## 動画メニュー

動画モードアイコン：

1.  モードで  ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。
2. 機能ボタン上/下を押して、変更するセットアップメニューを選択します。
3. 機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。
4.  ボタンを押して、設定を確定します。

## 測光方式

この設定により、明るさを測定する範囲を選択します。



3種類のメニューから選択することができます。

-  AiAE  
画面中央部と周辺の明るさを測定して、適正露出が得られるように自動的に値を設定します。
-  スポット  
画面中央のAFフレーム内を測光します。
-  中央部重点  
画面中央部の範囲を重点に測光します。

## 画像サイズの設定

サイズの設定により、画像の解像度が変わります。



高画質の画像記録に必要なSDカードのクラス：

No.	画像サイズ	駒/秒	推奨	録画時間 (4GB)
1	1280x720	30	Class 6	約19分
2	1280x720	15	Class 6	約37分
3	640x480	30	Class 4	約33分



1280x720 30 fps以上のサイズの録画時間は最長29分です。



高画質で動画撮影中に、カメラ内部の温度が上昇して、自然に中断することがありますが、これは故障ではありません。

## 手ブレ補正

手ブレ補正は、暗い時またはシャッタースピードが遅いときに発生する手ブレ及び被写体ブレの影響を軽減します。



- 手ブレ補正：オフ
- 手ブレ補正：オン

手ブレ補正は暗い場所で撮影するときにお勧めします。

風の強い場所や不安定な場所（動いている乗り物の中など）で撮影すると、ブレが生じることがあります。

## 色彩

色彩を変えることにより、画像にアート効果が追加されます。さまざまな色の組み合わせを試みて、画像の雰囲気を変えることができます。



4種類のメニューから選択することができます。

- 普通
- 鮮明
- セピア色
- 白黒

## 動画設定メニュー

モード：

1.  モードで  ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。



3.  ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、設定メニューを選択します。
4.  ボタンあるいは機能ボタン右を押し、サブメニューが表示されます。
5. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
6.  ボタンを押して、設定を確定します。

## デジタルズーム

この設定により、デジタルズーム機能のオン/オフを切り換えることができます。デジタルズームがオフになっているとき、光学ズームのみが使用できます。



2種類のメニューから選択することができます。

- オフ
- オン

## 再生メニュー

モード：▶

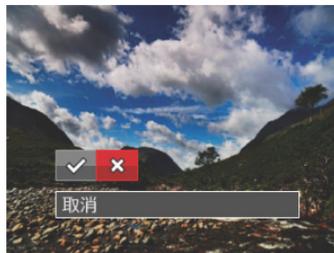
1. 再生モードで  ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。
2. 機能ボタン上/下を押して、変更するセットアップメニューを選択します。
3.  ボタンを押して、メニューに入ります。



4. 機能ボタン左/右を押して、メニューを選択し、 ボタンを押して、設定を確定します。

### HDR

HDR機能では、撮影した画像の露出、コントラスト不足などにより発生した、画像ムラ、明暗を補正して最適な画像にします。



-  : HDR  
 : 取消

-  HDR最適化した画像と変更前の元の画像は共にメモリーに保存されます。

## 赤目軽減

カメラには赤目軽減の機能が搭載されています。人物撮影で赤目の現象が発生したときに赤目の部分を軽減します。



 : 赤目軽減

 : 取消

 被写体ができるだけカメラの正面を向くようにすると、赤目現象は大幅に軽減できます。

 動画画像は赤目軽減ができません。

## 画像回転

選択した画像の方向（縦横位置）を設定します。



 : 右回転

 : 左回転

 : 取消

 回転して変更した画像のみメモリーカードに保存されます。

 パノラマ合成した画像を回転させることはできません。

 動画ファイルは向きを回転させることができません。

## 画像サイズの変更（リサイズ）

この設定により、画像を指定した解像度にサイズ変更し、それを新しい画像として保存することができます。



**1024** : 1024x768 にサイズ変更

**640** : 640x480 にサイズ変更

 : 取消



サイズ変更した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。



元の画像サイズが、「640X480」より小さい場合は、サイズ変更することはできません。



回転して方向変更した画像はサイズ変更できません。



パノラマ画像は、サイズ変更できません。

## 色彩

この設定により、色彩を変更できます。画像にアート効果が追加され、さまざまな色の組み合わせを楽しめます。変更した画像は、新しい写真として元の画像と共に保存されます。



 : 取消

 : 鮮明

 : セピア色

 : 白黒

## 再生設定メニュー

モード: 

1. 再生モードで  ボタンを押し、機能ボタン上/下を押し、 を選択し、 ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下を押し、メニューを選択します。



3.  ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押し、設定メニューを選択します。
4.  ボタンあるいは機能ボタン右を押し、サブメニューが表示されます。

5. 機能ボタン上/下を押し、メニューを選択します。
6.  ボタンを押し、設定を確定します。

すべての設定の詳細については、次の項を参照してください。

## 保護

静止画や動画が誤って消去されないように、この設定を使用して一枚またはすべてのファイルを保護することができます。



- 一枚  
選択した画像を保護します。
- すべて  
すべての画像を保護します。
- リセット  
すべての画像の保護を解除します。

## 消去

2種類のメニューから選択することができます。



- 一枚  
選択した画像を消去します。
- すべて  
すべての画像を消去します。

 保護アイコン  が表示されている画像は保護されています。画像を消去する前に、保護を解除してください。

 画像を消去すると、DPOF設定はリセットされます。

## DPOF (デジタルプリントオーダーフォーマット)

DPOF により印刷するために選択した静止画を記録し、それをメモリーカードに保存することにより、メモリーカードをプリントショップに手渡すだけで済み、どの画像を印刷するかを指摘する必要はありません。



3種類のメニューから選択することができます。

- 一枚  
プリント予約 (画像、枚数、日付等) をする画像を一枚ずつ選択します。
- すべて  
すべての画像をプリント予約します。
- リセット  
プリント予約を解除します。

 印刷には、DPOF対応プリンターをご使用ください。

## 画像のトリミング

トリミング機能により、撮影した画像の不要な部分を切り取ります。トリミングした画像は別の画像として保存されます。

画像をトリミングするには、次の手順でおこないます。

1. 「はい」を選択して、**(SET)** ボタンを押します。ズームレバーと機能ボタン上/下、左/右を押して、トリミング範囲を調整します。



2. **(SET)** ボタンを押して、「変更を保存しますか？」と表示されます。✓ あるいは ✕ を選択して、**(SET)** ボタンを押して、設定を確定します。

 画像サイズが「640×480」以下の場合はトリミングできません。

 回転して方向変更した画像はトリミングできません。

## カメラ設定メニュー

モード:  M   SCN  

すべてのモードで  ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 ボタンを押します。次に機能ボタン上/下を押して、 を選択します。



1.  ボタンあるいは機能ボタン右を押して、設定メニューが表示されます。
2. 機能ボタン右を押して、サブメニューに入ります。
3. 機能ボタン上/下あるいは左/右を押して、メニューを選択します。機能ボタン左を押して、セットアップメニューに戻ることもできます。
4.  ボタンを押して、設定を確定します。

 変更する機能メニューを選択するとき、機能ボタン上/下を押し続けると、各セットアップメニューに素早く切り換えることができます。

## 音設定

電源オン/オフ時の操作音およびシャッター作動音を調整することができます。設定を行なうには、次の手順でおこないます。

機能ボタン左/右を押して、操作音量を調整し、**SET** ボタンを押して設定を確定します。



- オフ
- トーン1
- トーン2
- トーン3



トーンを変更することにより、電源/シャッター音が同時に切り替わります。

## 省電力

この設定により、電力を節約し、電池寿命を延ばすことができます。液晶画面をオフにすると、カメラは一定時間の後自動的に停止状態になります。



- 自動
- 普通
- 最大

省電力	液晶モニターが閉じる時間	電源がオフになる時間
自動	3 min	5 min
普通	1 min	3 min
最大	30 s	1 min

## Language/言語

19ページの「言語設定」を参照してください。

## ワールドタイム

世界時間の設定は、海外旅行に役立ちます。この機能により、海外にいる間、液晶画面に現地時間を表示することができます。

1. 機能ボタン上/下を押して、 自宅を選択し、機能ボタン左/右を押して、同じ時間帯の都市を選択し、 ボタンを押して、設定を確定します。
2. 機能ボタン上/下を押して、 現地（訪問先）を選択し、機能ボタン左/右を押して、同じ時間帯の都市を選択し、 ボタンを押して、設定を確定します。都市を設定するだけで時差は自動的に処理されます。



## 日付/時刻

20ページの「日時設定」を参照してください。

## 液晶の明度

この設定により、液晶画面の明るさを調整することができます。



## ファイル 設定

モード:  M   SCN  

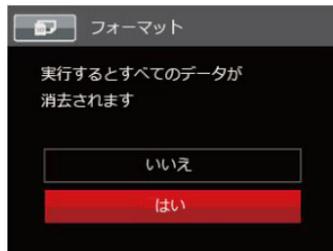
1.  ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して  を選択し、 ボタンを押してメニューに入ります。
2. 機能ボタン上/下を押して  を選択し、 ボタンまたは機能ボタン右を押してメニューに入ります。



3. 機能ボタン上/下を押して、設定メニューを選択し、 ボタンまたは機能ボタン右を押してメニューに入ります。
4. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択し、 ボタンを押して、設定を確定します。

## フォーマット

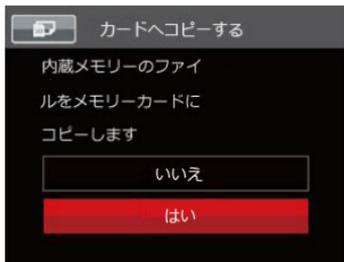
フォーマット機能では、保護された画像を含め、メモリーカードとカメラの内蔵メモリーのすべてのデータを消去します。



1.  「はい」を選択した場合、メモリーがフォーマットされます。
2.  新しいメモリーカードを使用するとき、またはメモリーカードがPCで初期化された場合、ご使用前にお使いのデジタルカメラでメモリーカードを必ずフォーマットしてください。

## カードへコピーする

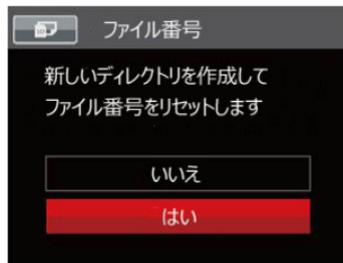
この設定により、内蔵メモリーに保存された画像をメモリーカードにコピーします。



カメラにメモリーカードを装填しない場合は、「カードへコピーする」項目は表示されません。

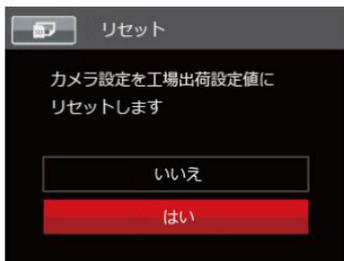
## ファイル番号

静止画または動画を記録した後、カメラはメモリーカードにファイルを自動的に保存します。保存するとき、数字が撮影した最後の画像から続くか、新たにカウンタを1にリセットして、新しいフォルダに保存するかを決定することができます（メモリーカード内のファイルが、9999を越えて、最後のファイルの写真が、999枚を越えた場合、「メモリーカードに残量がありません。新しいカードに交換してください。」と警告が表示されます）。



## リセット

この設定により、カメラを出荷時の設定に戻します。

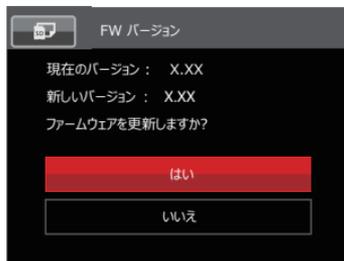


## FWバージョン

この設定により、現在のカメラのファームウェアバージョンの表示または更新します。



画面に新ファームウェアバージョンが表示されたときは、「はい」を選択して更新することはできます。



電池残量が少ない時は、ファームウェアを更新することはできません。

# カメラ接続

## PCに接続する

撮影した画像をコンピューターに送信するためにUSBケーブルを使います。

### USBモードを設定する

カメラのUSB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをPCに接続して正しく設定ができていることを確認します。

1.  ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 ボタンを押します。
3. 機能のボタン上/下を押し、USBを選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、PCを選択します。

4.  ボタンを押して、設定を確定します。

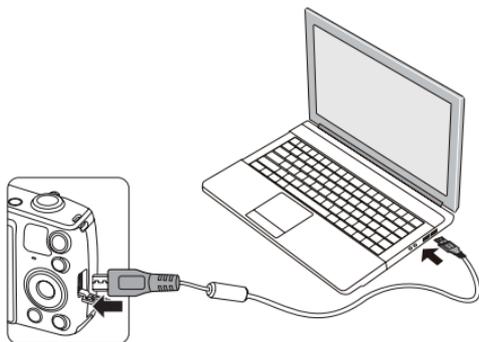


## PCにファイルを転送する

コンピュータは、リムーバブルドライブとしてカメラを自動的に認識します。デスクトップのマイコンピュータアイコンをダブルクリックしてリムーバブルドライブを検索し、一般的なフォルダやファイルをコピーするPCのディレクトリにドライブのフォルダとファイルをコピーします。

USBケーブルを使用することによって、撮影した静止画と動画をPCに転送することができます。以下のステップに従って、PCにカメラを接続します。

1. カメラとPCがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB/AV端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をPCの空きUSB端子に接続します。
4. 送信が完了したら、USB機器の安全な取り外し方法が記載してある取扱説明書に従ってUSBケーブルを取り外します。



## PictBridge互換プリンターに接続する

PictBridgeにより、画像をデジタルカメラのメモリーカードからどのブランドのプリンターにも直接印刷できます。プリンターがPictBridge互換かどうかを調べるには、パッケージでPictBridgeロゴを探すか、マニュアルの仕様をチェックします。カメラにPictBridge機能が搭載されていることで、付属のUSBケーブルを使用してPictBridge互換プリンターで記録した画像を直接印刷することができます。PCは必要ありません。

### USBモードを設定する

カメラのUSB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをPCに接続して正しく設定がされていることを確認します。

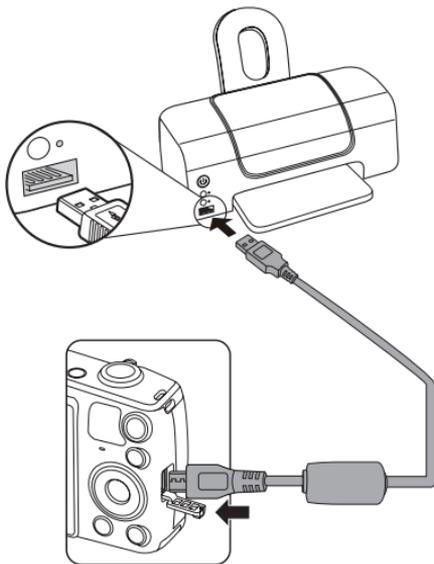
1.  ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 ボタンを押します。
3. 機能ボタン上/下を押し、USBを選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、プリンターを選択します。
4.  ボタンを押して、設定を確定します。



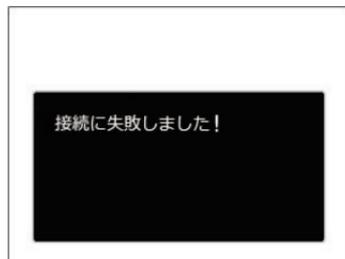
-  カメラをリセットすると、USBモードからPC接続モードに自動的に切り替わります。
-  PictBridgeメニューの設定は、73ページを参照してください。

## カメラとプリンターを接続する

1. カメラとプリンターがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をプリンターのUSB端子に接続します。



カメラがPictBridge互換プリンターに接続されていない場合、液晶モニターに次のエラーメッセージが表示されます。



-  USBモードが正しく設定されていない場合も上のエラーメッセージが表示されます。その場合、USBケーブルを抜き、USBモード設定をチェックして、プリンターの電源がオンになっていることを確認してから、USBケーブルを再び接続します。

## PictBridgeメニューを使用する

USBモードをプリンターに設定すると、5種類のメニューが表示されます。

1. 日付印刷
2. 日付なし印刷
3. サムネイル画像を印刷する
4. DPOF画像を印刷します
5. USBケーブルを取り消す



機能ボタン上/下を押して、PictBridgeメニューを選択します。

すべての設定の詳細については、次の項を参照してください。

### 日付印刷

カメラの日時設定を行なうと、撮影したすべての画像が日時付きで保存されます。日時付きで画像をプリントアウトするには、次の手順でおこないます。

1. メニューから「日付印刷」を選択すると次の画面が表示されます。



2. 機能ボタン左/右を押して、日付印刷する画像を選択します。

- 機能ボタン上/下を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。
- SET** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。



- 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。**SET** ボタンを押して、設定を確定します。

## 日付なし印刷

この設定により、日付を入れずに画像が印刷されます。

- メニューから「日付なし印刷」を選択すると次の画面が表示されます。



- 機能ボタン左/右を押して、日付なし印刷する画像を選択します。
- 機能ボタン上/下を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。
- SET** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。



5. 「はい」を選択すると印刷が始まります。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。Ⓢ ボタンを押して、設定を確定します。

## サムネイル画像を印刷する

この機能により、カメラのサムネイル画像の印刷ができます。

1. メニューから「サムネイル画像を印刷する」を選択します。次の画面が表示されます。



2. 「はい」を選択すると印刷が始まります。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。Ⓢ ボタンを押して、設定を確定します。

## DPOF画像の印刷

DPOF画像を印刷するには、前もってDPOF設定で画像を選択してください（62ページのDPOFを参照してください）。

1. メニューから「DPOF画像を印刷します」を選択します。次の画面が表示されます。



2. 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。SET ボタンを押して、設定を確定します。

## USBケーブルを取り消す

メニューを終了するには、「USBケーブルを取り消す」を選択します。「USB ケーブルを外してください」メッセージが表示されます。

画面にこのメッセージが表示されると、カメラとプリンターからUSBケーブルを安全に取り外すことができます。

## ビデオシステム

AVケーブル (別売品 Micro USB-AVタイプをお買い求めください) を使用して、ビデオ/テレビに接続します。

(詳細に付いては、ビデオ/テレビの説明書を参照してください)

1. ビデオとカメラの電源をオンにします。
2. AVケーブルの一端をビデオの映像入力端子 (音声入力端子) に接続し、他端をカメラのUSB/AV端子に接続します。

次の手順でビデオ出力信号を設定することができます。

1.  ボタンを押し、機能ボタン上/下で、 を選択し、 ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 ボタンを押します。
3. 機能のボタン上/下を押して、ビデオシステムを選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、「NTSC」あるいは「PAL」を選択します。
4.  ボタンを押して、設定を確定します。



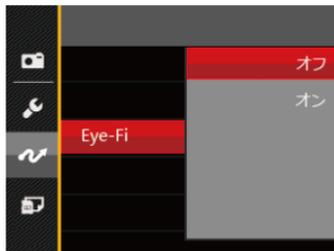
NTSC: 英語、中国語繁体、日本語、韓国語、ベトナム語

PAL: ドイツ語、スペイン語、イタリア語、中国語簡体、ポルトガル語、スウェーデン語、デンマーク語、フィンランド語、インドネシア語、ノルウェー語、オランダ語、トルコ語、ポーランド語、ドイツ語、クロアチア語、チェコ語、アラビア語、ヒンディー語、フランス語、ロシア語、ギリシア語、ハンガリー語

## Eye-Fi カード接続モード

このカメラは、Eye-Fiカードの無線接続をサポートしています。次の手順でEye-Fiカードと接続することができます。

1.  ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 ボタンを押します。
3. 機能ボタン上/下を押し、Eye-Fiを選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、「オフ」あるいは「オン」を選択します。



-  使用する前に、Eye-Fiカードの取扱説明書をよくお読みください。
-  Eye-Fiカードを海外で使用する場合、その国の法律にしたがってご使用ください。
-  使用を禁止されている場所（飛行機等）では、送信設定を「オフ」にしてください。

## 仕様



外観と仕様の一部を将来予告なしに変更することがあります。

撮像素子	形式	1/2.3型CCD
	カメラ部有効画素数	1615万画素
	総画素数	1644万画素
レンズ	焦点距離	4.3~64.5mm
	35mmフィルム換算	24~360mm
	開放F値	F3.3~F5.9
	レンズ構成	9群 10枚
	光学ズーム	15倍
	撮影範囲	通常撮影 (W) 60cm~∞、(T) 250cm~∞ マクロ撮影 3cm~∞(Wのみ)
オートフォーカスシステム	TTLオートフォーカス	
手ブレ補正	光学式手ブレ軽減	
デジタルズーム	4倍 (光学15倍と併用して最大60倍)	

記録画素数 (画像サイズ)	静止画	(4:3) 16MP: 4608×3456 10MP: 3648×2736 5MP: 2592×1944 3MP: 2048×1536 0.3MP: 640×480	(3:2) 14MP: 4608×3072	(16:9) 12MP: 4608×2592 2MP: 1920×1080
	動画	1280×720(15/30fps)、640×480(30fps)		
画質		精細、標準、普通		
DCF、DPOF (Ver1.1) サポート		○		
ファイル形式	静止画	Exif 2.3 (JPEG)		
	動画	画像圧縮: MOV (Motion JPEG)、音声: G.711 [Monaural]		
撮影モード		自動モード、手動モード、ポートレートモード、動画モード、パノラマモード、シーンモード		
シーンモード		自動シーンモード、風景、スポーツ、ビーチ、夕日、花火、夜景、雪、子供、IDカード、ガラス越し、フォトフレーム、流し撮り、魚眼、パーティー、室内、植物、博物館、夜景ポートレート、スケッチ		
検出機能		顔、笑顔、まばたき		
赤目軽減		○		
HDR		○ (後処理)		

パノラマ	最大180° (水平)
液晶モニター	3.0インチ TFTカラー液晶モニター (230,400 ピクセル)
ISO感度	自動, ISO 80/100/200/400/800/1600
AF方式	シングルAF、マルチAF (TTL 9ポイント)、顔検出
測光方式	AiAE、スポット、中央部重点、顔AE
露出制御方式	プログラムAE (AEロック可能)
露出補正	±2 EV(1/3ステップ刻み)
シャッター速度	4秒～1/2000秒 (手動 : 30秒)
連写	○
再生モード	静止画、サムネイル (9/16) 、スライドショー、 ズーム (約 2倍～8倍)、動画
ホワイトバランス	自動、晴天、曇天、蛍光灯、蛍光灯 CWF、白熱電球、手動

フラッシュ	フラッシュ方式	Pop-up (手動)
	フラッシュモード	発光禁止/自動発光/強制発光/スローシンクロ/スローシンクロ+赤目軽減発光/赤目軽減
記録メディア		内蔵メモリー: 8 MB
		SDカード/SDHCカード(32GBまでサポート) [MMC カードサポートなし]
多言語のサポート		27言語
入出力端子		AV-OUT/USB 2.0 (Micro 5 pin USB)
Eye - Fi サポート		○
電源		充電式 Li-ion電池 LB-052, 3.7V 890mAh、(本体装填で充電可)
撮影枚数 (電池寿命)		約 210 ショット (CIPA標準に基づく)
動作環境		温度: 0~40℃ 湿度: 90%以下 (結露しないこと)
寸法(幅 x 高さ x 奥行き)		約 108.4×69.9×33.5mm
質量		約 185g (本体のみ)

## エラーメッセージ

メッセージ	説明	リセット方法
警告! バッテリー残量がなくなりました	カメラのバッテリーがなくなりました。カメラがシャットダウンすることを示す警告です。	バッテリーを充電してください。
レンズエラー、カメラを再起動してください	レンズのつまり、引っ掛りにより、カメラの電源が自動的にオフになります。	カメラの電源をオフし、再起動してください。
三脚の使用をお勧めします	シーンモードの中で長いシャッタースピードまで使用するモード(花火モード、夕日モード、夜景モードなど)を選択すると表示されます。	撮影する前に三脚等でカメラを固定してください。
バッテリーが過熱しています	バッテリー温度が高温のため撮影を継続できません。	2秒後、自動的に電源はオフになり、温度が下がった後、使用することができます。
内蔵メモリーエラー	内蔵メモリーにエラーが発生しました。	内蔵メモリーをフォーマットしてください。
長時間シャッター オン: 露出オーバーにご注意ください	スローシャッター速度を設定したときは、露出オーバーになります。	シャッター速度を目的に合わせて設定できます。

メッセージ	説明	リセット方法
画面が一致しませんもう一度やり直してください	構図を決めるときカメラの移動角度のズレが大きいです。	撮影中は水平に移動します。
接続に失敗しました	PC、プリンター、テレビ（ビデオ）への接続が失敗しました。	USBケーブルを取り外し接続を解除すると、表示は消えます。
警告! 更新中はカメラの電源を切らないでください	ファームウェアを更新するときに表示されます。	ファームウェア更新後、カメラがオフして表示が消えます。
USB ケーブルを外してください	カメラ、PC、プリンター等からUSBケーブルを安全に取り外すことができます。	USBケーブルを取り外し接続を解除すると、表示は消えます。
書き込み保護	メモリーカードが書き込み保護されています。SDカードの書き込み保護スイッチのロックを解除してください。	メモリーカードの書き込み保護スイッチのロックを解除してください。
メモリーカードの残量がありません	メモリーカードがいっぱいで、新しい画像を保存できません。	新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。

メッセージ	説明	リセット方法
内蔵メモリーの残量がありません	内蔵メモリーがいっぱいで、新しい画像を保存できません。	新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
カードエラーです	<ul style="list-style-type: none"> <li>メモリーカードのフォーマットを識別または読み込みできません。</li> <li>SDXCメモリーカードが装填されています。</li> </ul>	新しいメモリーカードと交換するか、または本機でカードをフォーマットしてください。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないメモリーカードが装填されているか、PCなどでフォーマットされたSDカードが装填されています。	メモリーカードをフォーマットしてください。
SDHCメモリーカード（クラス4以上）をおすすめします	HD動画の録画に、Class4以前のSDカードを使用すると、書き込み速度が遅くなり、録画を継続できなくなります。	SDカードはClass4以上のものを使用してください。
赤目現象はありません	赤目の現象は、画像から検出されません。	表示は2秒後に消え、最適化メニューに戻ります。

メッセージ	説明	リセット方法
この画像は編集できません	このファイルフォーマットでは編集できません。一度編集した画像は再度編集できません。	ほかの写真を選択してください。
フォルダー番号が最大値になっています	SDカードのフォルダー番号が最大値（999）に達すると、カメラの起動時間が遅くなる可能性があります。	資料をパソコンにコピーし、保存してください。カメラで、メモリーカードをフォーマットしてください。
画像が多すぎて処理できません	日付別に再生しているとき、画像が多すぎて、日付別に再生できなくなりました。	不要な画像を削除することで、表示できる場合があります。
ファイルを認識できません	画像フォーマットがサポートされていません。画像が損傷しています。	他社のカメラやPCでは再生できる場合があります。
画像がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がありません。	表示は 2秒後に消え、撮影画面に戻ります。
保護されています！ 消去できません！	画像は保護されています。消去する前に、保護を解除してください。	消去する前に、保護を解除してください。

## 困ったときには

問題	考えられる原因	解決法
カメラがオンにならない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電池切れです。</li> <li>■ 電池が正しく装填されていません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新しい電池に交換してください。</li> <li>■ 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。</li> <li>■ 電池のプラスとマイナスを確認しながら電池を装填します。</li> </ul>
操作中にカメラが突然オフになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電池切れです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新しい電池に交換してください。</li> <li>■ 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。</li> </ul>
写真がぼやける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ レンズが汚れています。</li> <li>■ 手ブレ、被写体ブレになっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 柔らかい布を使用して、カメラのレンズを軽く拭いてください。</li> <li>■ OIS 手ブレ補正を有効します。</li> </ul>
静止画、動画ファイルを保存することができません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ メモリーカードの残量がありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ メモリーカードを新しいものと交換してください。</li> <li>■ 不要な画像を消去してください。</li> <li>■ メモリーカードのロックを解除してください。</li> </ul>
シャッターボタンを押しても画像を撮影できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ メモリーカードの残量がありません。</li> <li>■ ファイルを保存する空き容量がありません。</li> <li>■ 再生モードになっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ メモリーカードを新しいものと交換してください。</li> <li>■ 不要な画像を消去してください。</li> <li>■ メモリーカードがロックされています。</li> <li>■ モードボタンを押して、 に合わせます。</li> </ul>

問題	考えられる原因	解決法
<p>接続したプリンターから画像を印刷できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ カメラがプリンターに正しく接続されていません。</li> <li>■ プリンターがPictBridge互換ではありません。</li> <li>■ プリンターが用紙またはインク切れです。</li> <li>■ 用紙詰まりです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ カメラとプリンターの接続を確認してください。</li> <li>■ PictBridge互換プリンターを使用してください。</li> <li>■ プリンターに用紙を補給してください。</li> <li>■ プリンターのインクカートリッジを交換してください。</li> <li>■ 詰まっている用紙を取り除いてください。</li> </ul>
<p>メモリーカードの書き込み速度が遅い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ クラス4以下のメモリーカードでHD以上の動画を記録する場合、書き込みスピードが遅くなって、記録できない可能性があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ SDHCカードを使用する。または、このメモリーカードをフォーマットしてください。</li> </ul>
<p>メモリーカードに書き込むことができません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ メモリーカードが書き込み保護されています。</li> <li>■ 静止画/動画を撮影するとき、メモリーカードの書き込みが中止（記録速度が遅すぎるなどの原因で）になって、撮影できなくなります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ カードの書き込み保護スイッチをオフにしてください。</li> <li>■ ハイクラスのメモリーカード（Class 6以上）に切り替えてください。</li> </ul>
<p>液晶モニターにフラッシュ  が点滅します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 撮影環境でフラッシュの使用が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ フラッシュを使用してください。</li> </ul>

## メモ리카ードの互換性

- このカメラで使用できるカード (√: 使用可 X: 使用不可)

	micro SD	micro SDHC	micro SDXC	SDカード への変換ア ダプター	SD	SDHC	SDXC
フォーマット	FAT12, 16	FAT32	exFAT	-	FAT12, 16	FAT32	exFAT
容量	2GBまで	4~32GB	64GB~2TB	-	2GBまで	4~32GB	64GB~2TB
互換性	X	X	X	√	√	√	X

メモ리카ードには書き込み速度を表すスピードクラスが表示されています。

撮影されるビデオ録画モードに適切な書き込み速度のメモリーカードをご使用ください。  
(O : 推奨 X : 非推奨)

	スピードクラス	UHS スピードクラス	ビデオスピードクラス	ビデオ録画			
				4K	FHD	HD	VGA
90MB/sec			V90	O	O	O	O
60MB/sec		UHS-III	V60	O	O	O	O
30MB/sec		UHS-I	V30	O	O	O	O
10MB/sec	Class 10		V10	O	O	O	O
6MB/sec	Class 6		V6	X	O	O	O
4MB/sec	Class 4			X	X	X	O
2MB/sec	Class 2			X	X	X	O

© 2021 JK Imaging Ltd. All Rights Reserved.

コダックの商標およびトレードドレスは、コダックのライセンスに基づき使用されます。

JK Imaging Ltd. 17239 So. Main Street, Gardena, CA 90248 USA

JK Imaging Europe, 71 Clarendon Road, Watford, WD17 1DS, UK

[kodakpixpro.com](http://kodakpixpro.com)

Made in Myanmar



Ver. 8.1